

市長と語ろう！タウンミーティング 報告書

～ 地元で働く楽しさ、地元の魅力を発見 ～

令和7年2月23日（日）10：00～12：00

北秋田市民ふれあいプラザ コムコム 多目的ホール

【出席者】

北秋田市長

津谷 永光（つや えいこう）

武石紙器株式会社

代表取締役 武石 美久（たけいし みく）さん

鷹巣中学校

出川 遙乃（いでかわ はるの）さん

合川中学校

成田 虎六久（なりた ころく）さん

森吉中学校

柏木 晴花（かしわぎ はるか）さん

阿仁中学校

田中 来羽（たなか こはね）さん

ファシリテーター（秋田大学北秋田分校長）

三浦 栄一（みうら えいいち）さん

司会（北秋田市総合政策課長）

福島 統（ふくしま とう）

（敬称略）

他、参加者 27 名

次 第

1. 開 会
2. 市長あいさつ
3. ファシリテーター紹介
4. 参加者自己紹介
5. トークディスカッション

【トークテーマ】

- ①働くことについて
 - ②北秋田市で働く人や、更にはまちが活気であふれるためには北秋田市は
どんなことをしたらよいか？またどんなものがあったらいいか？
6. 市長感想発表
 7. ファシリテーターまとめ
 8. 閉 会

1. 開会

司会

「令和6年度 市長と語ろう!タウンミーティング」を開会いたします。

2. 市長あいさつ

皆さんおはようございます。

本日は昨日からの大雪でお足元が悪いにも関わりませず、また、大変お忙しい中、「市長と語ろう!タウンミーティング」にお集まりいただき、ありがとうございます。

今回は北秋田市で働く事業者さんと中学生の皆さんが仕事やまちの未来について語り合うトークディスカッションとなっております。

開催にあたり、本日校長先生方もいらっしゃっていますが、ご協力いただきました学校関係者の方々、また、中学生、義務教育学校生の皆さん方、武石紙器(株)武石 美久さん、また、ファシリテーターをお引き受けいただいた秋田大学北秋田分校長の三浦先生に対しまして心より感謝申し上げます。

生徒の皆さんには日頃働くこと等、仕事について実際に働く大人と話し合う機会はある方もいるかもしれませんが、なかなかないと思いますので、今日はこういう貴重な場ですので、是非気軽にご質問していただき、また、率直な意見を聞かせていただきたいと思います。働くことの厳しいこと、楽しいことばかりではなく大変だと思うこともあるかもしれません。しかし、このような話を聞くことで皆さんの将来の選択肢が広がって、様々な考えに触れていただければと思います。また、実際に働く我々も若者の仕事に対する考え方に触れ、異年齢とのつながりができることで今後の取組へ繋げることができるのではないかと考えております。

参加者の皆さんからは北秋田市で働くことのほか、北秋田市で挑戦してみたいことや、北秋田市が活気あふれるまちになるためのアイデアなど普段から考えていることや感じていることについて、率直にお話をしていただければと思います。

また、ご来場いただきました市民の皆様にも参加者の皆さんそれぞれのお話を聞いていただき、ともに語り合う機会にしたいと考えております。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

3. ファシリテーター紹介

司会

ありがとうございました。

それでは、本日のファシリテーターである三浦栄一さんをご紹介します。

三浦さんは、昭和 57 年より県内の小学校において教鞭をとられ、令和2年3月に退職されるまで合川西小学校校長や統合校である合川小学校初代校長などを歴任されております。

現在は、秋田大学北秋田分校長の傍らラジオ番組のパーソナリティを務められているほか、最近では三浦さんが所属されているポップスデュオ「ダックスムーン」の2011年発売の3枚目のアルバム「星空」が音楽配信サイトアップルミュージックのタイ国での J-POP ランキングで7位にランクインするなど、県内のみならず、国外でも幅広く活躍されておりお忙しい毎日を過ごされております。

それでは、ここからの進行は三浦さんにお渡ししたいと思います。三浦さん、よろしくお願いいたします。

ファシリテーター(三浦さん)

ご紹介に預かりました秋田大学北秋田分校の三浦と申します。今お話しありましたように、ポップスデュオ、ダッ

クスマーンとしても活動しておりますが、ご紹介いただきましたように、昨年タイのアップルミュージックでなんと7位というランキング入りで我々自身も驚いているんですけども、僕たちの上位には福山雅治さんや藤井風さんがランキングされておりまして、そのランキングを見て、1つはまず、歌や音楽の力ってすごいんだなと思っているんですけども、今やこの秋田の県北にいても、ネットを通じて、世界にいろいろと開かれているから、そしていろんな人がたくさん、どこでどんなきっかけで知っていただけるか分からない。そしてまたそれがつながることによって、こんなに大きな力になるんだなということを実感したところであります。

自称シンガーソングライターです。マイクを持つとつい歌いだしたくなる癖があるんですけども、今日はそこをぐっと我慢して、若さあふれる中学生皆さんと、そして市内で会社を営まれております、武石さんの思いや願いを深掘しながら、市長さんのお考えのビジョンと合わせて、ここにいる皆様と一緒に働くことって何かな?とか、北秋田市の未来について考えていければと思います。よろしくお願いいたします。

4. 自己紹介

ファシリテーター（三浦さん）

本日参加していただいている皆さんに自己紹介をしていただきたいと思います。

武石紙器（株）（武石美久さん）

はじめまして武石紙器株式会社の武石美久と申しますよろしくお願いいたします。北秋田市鷹巣の綴子地区で、創業 61 年の会社で、私は社長を始めてまだ手探り状態ですが、いろんな体験をして会社も盛り上げていきたいなと思っております。

また、去年は「ミセスオブザイヤー秋田県大会」というものがありまして、そこでちょっとチャレンジさせていただいて、グランプリを取ることができました。それをきっかけに全国大会にチャレンジしていろんな方とお話する機会をいただきました。自分自身がいろんな行動して経験を積んだことで、自分自身も変化していることが分かりました。なので中学生の皆さんにもいろんなことに挑戦して、いろんな経験を積んでほしいと思っています。よろしくお願いいたします。

鷹巣中学校（出川遙乃さん）

鷹巣中学校生徒会長の出川遙乃です。部活は卓球部に所属しています。卓球部に決めた理由は、小学生の頃友達と北欧の杜に遊びに行ったとき、そこに卓球台があって遊んだら楽しくて、はまったからです。鷹巣中学校女子卓球部は大北で最も人数の多い卓球部で、試合の前には必ず部内ランキング戦を行っています。最近は1年生も力をつけてきているので、油断すると負けそうになってしまうので新たなサーブを考えたり、コースを変えてみたりと、試行錯誤しながら頑張っています。

趣味は歌うことで、自分専用のマイクを4本持っていることがちょっとした自慢です。今日はよろしくお願いいたします。

合川中学校（成田虎六久さん）

合川中学校2年生生徒会長の成田虎六久です。部活動は相撲部に所属していて、学校外での部活動に所属しています。昨年は全国大会にも行かせていただいて、あんまり自分の相撲は取れなかったんですけど、自分の自信につながるような相撲は取れたのでよかったと思います。

趣味は、寝ることだったり、アイドルを見ることだったり、いろんなことが好きです。好きな食べ物はカレーライスで、たくさん食べることで自分の体力を回復したり、おいしいもの食べて笑顔になることが、自分の生きがいかなあと感じています。今日はよろしくお願いいたします。

森吉中学校（柏木晴花さん）

森吉中学校2年の柏木晴花です。最近頑張っていることは、英語をペラペラ話せるように頑張っています。1月に、英検の3級を受けて、一次試験に受かりました。3月2日に2次試験の面接があるので、それに向けて日々努力して

います。

趣味は、歌うこと、アニメを見ること、絵を描くことです。よろしくお願いします。

阿仁学園(田中来羽さん)

阿仁学園8年の田中来羽です。生徒会長をやっています。部活動は陸上部に所属していて、毎日筋肉痛に悩みながらも頑張っています。

趣味は、アニメや漫画を見ることで、最近は歌うことにもはまっています。よろしくお願いします。

5. トークディスカッション

ファシリテーター(三浦さん)

ひとつめのトークディスカッションに入ります。

一つ目は「働くこと」がテーマになります。将来就きたい仕事や、仕事を選ぶ基準などお話いただいて、そして、将来就きたい仕事に関わらず、北秋田市で働くならこんな仕事、こんな仕事が北秋田市にあったらいいなあという観点から発表をお願いします。

鷹巣中学校(出川遙乃さん)

私は将来ウェディングプランナーという仕事に就きたいと思っています。

仕事を選ぶ基準としては、まず、第一に人に幸せを提供できる仕事ということと、働きがいのある仕事かどうかということです。もしウェディングプランナーになれなかったとしても、人に幸せを提供できる仕事という自分の意志の中心みたいなものがあるので、そこは変えないで仕事を選びたいと思います。

北秋田市ではまちおこしの仕事に就きたいです。北秋田市の自然や行事などをもっと世界に発信していくことで一人でも多くの人に北秋田の魅力を知ってほしいからです。北秋田市には森吉山の樹氷や太平湖や安の滝など自然がたくさんあります。樹氷や太平湖にはガイドなどがあって、そういうのが結構知られていると思うんですけど、安の滝などはガイドなどがあまり知られてないと思うので、それを広報に載せたり、SNSにアップしたりしたら、あまり知られない自然にも観光客が増えると思います。

合川中学校(成田虎六久さん)

僕は中学校の先生になりたいと思っています。

また、仕事をどのような基準で選ぶかは、まず、先生というのはやりがいのある仕事で、行事などでも生徒と関わるところで、すごくやりがいがあるなあと感じるから先生になりたいと思いました。そして、みんなに教えることが好きで、社会が得意で、社会の時間に教えたり、数学の方式などを友達に教えるということも楽しいから先生になりたいと思いました。そして、これが一番なんですけど、憧れの先生がいて、その先生が社会の先生で憧れてなりたいたと思いました。

次に、北秋田市で働くなら、林業関係の仕事です。北秋田市は森がすごく豊富でその木を曲げわっぱを作る人や建築関係の人たちなどの木を扱う仕事の人へ、北秋田市産の木を提供してもっと北秋田市の木を、全国に使っていただけたらいいなと思ったからです。以上です。

森吉中学校(柏木晴花さん)

私は、絵を描くこと歌うことが好きなので、それらに関わる仕事に就きたいと思っています。今考えられるのは、イラストレーターや歌手などを考えています。イラストや漫画、アニメに関わる仕事、会社と契約をしてグループ活動や歌の会社でマネジメントをしてくれる会社があればいいと思います。

北秋田市で働くとしても先ほどお話したような仕事に就きたいです。絵やイラストアニメなどを作れる会社があればいいと思います。アニメやイラストで北秋田市のことを紹介、宣伝したり、その会社でヒット商品が出れば、アニメ聖地巡りなどで多くの人が訪れると思います。

また、北秋田市には森林を活用したホテルなどを、空港や駅の近くに建設して宿泊を兼ねて楽しんでもらえるようにしていけばよいと思います。

阿仁学園（田中来羽さん）

私は保育士になりたいと思っています。母が保育士で憧れているからです。

仕事を選ぶ基準は、興味があること、好きなことです。

阿仁学園の学習で去年阿仁保育園に行きました。また、普段から同じ校舎に、中学校1年生から中学校3年生までではなく、1年生から6年生もいて、行事や休み時間の触れ合いを通してたくさんの時間を一緒に過ごしてきました。そのことから改めて自分は子どもが好きだということに気がつきました。だから、私は自分の興味があることや好きなこと、憧れを将来の職業として考えていきたいと考えています。

私は保育士になりたいと思っているので、保育士を職業とするためには、北秋田市に子どもがもっとたくさんいるといいと思いました。だから、北秋田市に住む人や移住してくれる人を増やすとよいのではないかと思います。ニュースなどで子育てが困難な状況にある人など見て、そういう人たちを大切にしていけることが大事だと思います。なので、行政のサポートなどで、無料シャトルバスや子供が遊べる広い場所を整備したりして、子どもが参加したくなるようなイベントがある市、子育てが大変な家庭をサポートできる人や環境が整っている市、そんな北秋田市で保育士として働いていけたらいいなと考えています。

武石紙器（株）（武石美久さん）

私の仕事は「箱屋」ですが、正直言うと影が薄い職業です。

このような会を通して「箱屋」という仕事を紹介できる機会を与えていただいております。

普段ですが、市内のお菓子屋さんや曲げわっぱなどの民芸品を納める箱、あとは精密工場で作られた精密機器を納める段ボール加工品を製作しています。あとは、SNSなどを通してお客様から依頼をいただいて、ハンドメイド作品の箱とかを作成しています。

箱屋になるきっかけですが、家業が箱屋でした。私はもともと、前職が美容師で、高校在学中に秋田市の美容専門学校の通信科に在学していて、高校卒業と同時に美容師になりました。美容師をやりながら、国家試験を受けて美容師の国家資格を取りました。美容師を14年経験したのですが、途中で家業の箱屋の後継者がいないとなって、家族会議をした結果、当時仕事を辞めて家業を継ぐことができるのが私しかいなかったのが32歳の時に好きで始めた美容師の仕事を、後ろ髪を引かれる思いで辞めて家業を継ぎました。初めは本当にお手伝い程度の仕事しかできず、右も左も分からない状態で、その中で社長になるという状態で必死にいろんなことを勉強して、今となってはやっと自分が社長ですと言えるくらいの状態までいろいろな経験をさせていただきました。

そんな中で何が嬉しかったか、どんな喜びを得て頑張ろうと思ったかということ、お客さんが箱を開けたときに絶対に喜んでくれるだろうなという気持ちで頑張ってきました。皆さんも箱を開けるとき「何が入っているんだろう」とかワクワク、ドキドキするじゃないですか？そういうものを想像して、きっと喜んでくれている、そのために中身という主役の価値を上げるための良い箱を作ろうと思って頑張っています。日々勉強で、勉強や経験をするだけで考え方も変わってくるので、皆さんにもいろんな経験や挑戦をして欲しいなと思います。

北秋田市で働いていて感じること、魅力的な部分ですが、小さな町だからこそ人とのつながりが大切です。1人でできないことも、声出すとたくさんの方が協力してくれます。私自身今年の11月に小学生向けの職業体験イベントの開催を計画して、それは1人でやりたいなと思って限界があるので周りの人に声をかけて、協力してくれる仲間を募り、その結果11月に開催する目処が立つところまできました。この職業体験イベントを行うことで北秋田市にある、影の薄い存在の仕事の会社とか、そういう職業があることを子どもたちに知ってもらって、将来北秋田市で働きたいという気持ちになってもらいたいのと、あと企業としては、自分たちの職業の魅力とか良いところを

知ってもらいたい機会だと思ってイベントを開催しようと思いました。今まで3回ほど能代などの他地区の職業体験イベントに箱屋として参加したのですが、参加した子どもたちが、すごく楽しそうで北秋田市の子どもたちにもこの職業体験イベントを体験してもらいたいという気持ちでこのイベントを開催したいと思いました。また、このイベントの他にも子どもたちが喜ぶイベントをもっとたくさん開催していきたいなと思っています。

ファシリテーター（三浦さん）

箱といってもたくさんありますよね。普段はどのような箱を作られているのでしょうか。

武石紙器（株）（武石美久さん）

ハンドメイドの作品を納める小さな小箱から、民芸品で、曲げわっぱのおひつなどを納める箱であったり、あとは、段ボールなんですけど、段ボールといってもたくさんあって、段ボールって横から見るとナミナミになっているのですが、ナミナミの大きさや厚さや硬さなども様々で、初めはそれを覚えるのも大変で、お客さんにどんなものを入れるのか聞き取りして、一つ一つ調べながら作成していました。お客さんが求める物が作成できたとき、お客さんとの信頼関係を築くことができて、「武石さんにだったら任せられる」という言葉をいただき、日々勉強ですがそういう経験が自分の糧にもなっているなと感じます。人間はいつまでも勉強して成長していくんだなと改めて思いました。

ファシリテーター（三浦さん）

11月には職業イベントを企画されているということで素晴らしいなと思いました。小さいうちからいろんな事に触れ合うということが大事だと思われているのですね。箱ですとワクワク感やドキドキ感というお話が出ましたが、そのような部分への出会いなどはあったのでしょうか。

武石紙器（株）（武石美久さん）

美容師の時は直接お客さんから「とってもこの髪気にいりました。ありがとう。」という言葉がいただけるのですが、箱屋の場合はラストユーザーさんの顔が見えなくて、きっと喜んでくれるだろうという想像だけでしたが、インスタグラムを始めてから、ラストユーザーさんが箱と一緒にInstagramに投稿してくれて、そういう投稿を見て、やっぱり喜んでくれている、よかったと思うようになって、もっといい箱を作ろうと自分の中でも切磋琢磨しようという気持ちになりました。結果が目に見えることでもっと頑張ろうという気持ちになります。

ファシリテーター（三浦さん）

中学生の皆さんから武石さんに聞いてみたいことはありませんか。

阿仁学園（田中来羽さん）

お客さんの喜んでる姿を見て切磋琢磨しようと思ったと言っていましたけど、どのように切磋琢磨していけばいいですか。

武石紙器（株）（武石美久さん）

あくまで私の考えですが、自分が変わるの自分次第だと思います。美容師として働いていて、その後箱屋として頑張っていこうと思ったとき、自分の気持ちの切り替えが大事でした。元々物を作ることは好きだったので、それで初めはがむしゃらに箱を作って、まずは覚えなきゃと思ってやっていて、それからどんどんできることが増えてきて、今度はきれいに作っていこうとか、ここまでできたからもういいやではなくて、次はもっとこうしようとか、もう一歩いけるかもしれないとか、自分との闘いのような感じで、自分の気持ち次第でやれることも増えてくると思います。

阿仁学園（田中来羽さん）

私も生徒会長になって、これから困ることとか、苦しいときとかもあると思うんですけど自分次第でどうにかなると思えながら、一生懸命頑張っていこうと思います。ありがとうございます。

合川中学校（成田虎六久さん）

まず、お客さんに喜んでもらえることが一番嬉しいってところなんですけど、嬉しい気持ちになる前に辛いこととかもあると思うんですけど、大変だったり、辛いなあって思ったとき働くみんなへの声かけなど、どのような感じで頑張れたのですか。

武石紙器(株)(武石美久さん)

うちの会社は家族経営で、私はある意味仕事を行う上でも自由な方で「自分の好きな発想で」というやり方なんですけど、母と兄は、着実に物事を進めるタイプなので、母と兄が私のサポートをしてくれて、頑張れとは言わないんですが、私たちがいるからとか、私たちがやれることだったらいつでも言ってねと優しい言葉をかけてくれました。でも私自身の気持ちが落ちてしまったときは、そこから這い上がってくるのは自分次第だと思います。周りに頑張れ頑張れって言われても、自分は頑張っているのにこれ以上どう頑張ればいいんだってなるじゃないですか。だから自分で自分の気持ちを高めていきます。自分が辛かった時に頑張れという言葉が辛かった時もあったので、私自身も周りのみんなに頑張れって言わないようにしています。自分の頑張れるタイミングで這い上がればいいのかと思います。

合川中学校(成田虎六久さん)

僕も頑張れ頑張れって言われて結構やけになって、なんでこんなに頑張ってるのにまた言われなきゃいけないんだよ!みたいな部分はあります。

でもやっぱり自分の相撲の中での夢に向けて、自分で自分をたたきながら最後までやり遂げるっていうところを日々意識して頑張ってます。

森吉中学校(柏木晴花さん)

故郷で働くことなどの魅力を教えてください。

武石紙器(株)(武石美久さん)

私は初めから秋田県や北秋田市から出るという考えはなくて、美容学校も秋田市で、美容師として働いていたときも、鷹巣や大館、最後は合川でした。

魅力は、やはりみなさん優しいところです。都会に出たことがないので、当たり前を感じている部分もあるんですが、周りの人のやさしさが当たり前と思って、例えばちょっと助けてほしいってなったときに、すぐに手を差し伸べてくれるし、みんなが気にかけてくれました。ちょっと助けてもらいたいときに相談するとアドバイスしてくれたり、そういう部分は小さい地域だからこそその魅力なのかなと感じています。

鷹巣中学校(出川遙乃さん)

ずっとやりたかった美容師になられて、そこから家業を継ぐってなったときに、なりたかった美容師によやくなれて楽しかったのに、それを辞めなければいけなくなった時辛い思いとかあったと思うのですが、それはどのように乗り越えてきたんですか。

武石紙器(株)(武石美久さん)

初めは泣く泣く美容師を辞めて、自分になりたかった美容師のレベルには全然達していなくて、その志半ばで辞めとなったときに、箱屋のお客さんから「箱屋がなくなったら困る」という言葉を聞いて、私が頑張ろうって思えて、人に喜んでもらうことがすごく嬉しくて、美容師もそうで、綺麗にしてくれてありがとうっていう言葉もうれしかったし、箱屋になってもラストユーザーさんがすごく嬉しそうにしてくださっていて、実際に「武石さんに頼んで良かった」って言ってくれて、ありがとうっていう言葉が私のモチベーションだと改めて思いました。辛くても頑張ったからこそ今の自分があるということは実感しています。

鷹巣中学校(出川遙乃さん)

私も人に喜んでもらうことが好きで、人のためにやり過ぎてしまってお節介って言われることもあるんですけど、喜んでもらえるためにどうしたらいいかなって考えるのが好きなので、とても参考になりました。

市長

本当に皆さんありがとうございました。

4人の中学生のみなさんにお話しいただきましたが、皆さんそれぞれ目標や今やっていることがいろいろあります。

それは一人一人がお話していたように、自分のやってみたいことや、これからやりたいことなど、いろんなことにドキドキ感ワクワク感を大事にしてチャレンジしていただきたいなと思いました。それに喜んでくれる方もたくさんいるんじゃないかなと思いました。ぜひ先ほど武石さんからお話あったことも糧として自分の目標に向かって頑張ってもらえればありがたいなと考えます。なかなか市長も皆さんに喜んでもらえる、ワクワク感のあることをやれずお叱りを受けることもあるんですけども、今日のお話を聞きながら、改めて考えていかなければならないなと思いました。

ファシリテーター（三浦さん）

市長さんから励ましの言葉もありましたけれども、

これ働くことにもつながりますが、何になりたいだけではなくその先にある意味、何のためにこの仕事をしたいのかなという部分がものすごく大事だなと思います。目標に向かって自分自身もドキドキワクワクすることもそうですがその先にある仕事を通して、こんなふうになってもらえればいいなというところがきっとあるんですよね。そこら辺をもう少し中学生の皆さんにも話していただきたいです。

例えば幸せになってほしいというのとどんな気持ちとか、どういう幸せがあるでしょうか。何か思っていることはありますか。

鷹巣中学校（出川遙乃さん）

人に幸せを提供したいとか、喜んでもらうのが嬉しいというのもあるのですが、笑顔を見るのが好きなので、自分がしたことによって相手が幸せな気持ちになってくれた笑顔が見たいという思いがあります。

合川中学校（成田虎六久さん）

教師というのは出会いもあれば別れもあるある職業なので、成長していく中で「生徒が成長したなあ」であったり、久々に会った時もこんな職業に就きましたとか、そういう生徒の成長を感じていける仕事だなと思っているので、そういうところでも、教えてよかったなどの感情をあると思うので、その生徒に幸せを与えるというところがやっぱり教師という仕事にすごくあると思います。

市長

すごく感心しながら聞いておりました。

私が小学生中学生の頃というのは、子どもが多く、中学校の時は10組もありましたので大変マンモス校でありました。そうした時でも先生方は、一人一人の顔や性格なんかもよく知ってくれていて、卒業してある程度大人になってからも、先生はそれ覚えてくれて、みんなどうしてるとか声をかけてくれて、みんな嬉しい気持ちになって「よしまた頑張るべ!」って感じになるんですよね。今、成田さんから、先生になりたい、憧れの先生がいるっていう話もあったんだけど、まず、自分の憧れの先生になりたいっていう、気持ちを持ち続けて欲しいなという思いです。教えられる子どもの数は減っていますが、やっぱり一人一人に、いろんないい影響を与えてくれる先生になってほしいです。自分が憧れる先生に出会えたことは素晴らしいですし、ぜひ自分の思いが叶えられるように頑張ってください。

ファシリテーター（三浦さん）

柏木さんはイラストレーターとして働いてその先にある幸せはなんだと思いますか。

森吉中学校（柏木晴花さん）

アニメで北秋田市の自慢などを製作できれば県内だけではなく海外の人にも、日本ってこんないいところがあるんだなって思ってもらえて、自慢できるようなことがたくさん増えて幸せになれると思います。

ファシリテーター（三浦さん）

イラストやアニメを通して北秋田市の良さを発信していきたいということですね。

阿仁学園（田中来羽さん）

私は、保育士になりたいって思ったきっかけは親が、子どもが何かをできるようになったことを喜んでいる姿を見たことで、やっぱり行事とかでできないことができたり、みんなと楽しく遊んでいる子どもたちの幸せを親が見たり、親

が子どもたちがこんなことができるようになったよってという報告を聞いて喜ぶ姿とか、何かの幸せを感じることが嬉しいと思うので、保育士は憧れだけではなく、誰かが幸せになっているところを見たいなという気持ちもあります。

ファシリテーター（三浦さん）

その仕事の先にたくさんある幸せ、そこにつながるような、仕事をしていきたいという思いがいっぱいここに見えてきたような感じがします。武石さんはミセスオブザイヤーで、外客の美しさもそうだけれども、内面の美しさということもお話されてますよね。そこら辺は今の仕事に通ずるものというのはあるのでしょうか。美しさもそうですし、強さというのもあるのでしょうか。

武石紙器（株）（武石美久さん）

ミセスオブザイヤーになぜチャレンジしたのか、そこから始まるんですけど、概要欄に「行動の美」という言葉がありまして、私自身行動するということで世界観が全く変わりました。きっかけはまずコロナだったんですけど、コロナで箱屋が大打撃を受けて、全く仕事がない状態で、プライベートでもいろいろあってそれが重なったときに、このままではだめだ、自分で行動しないといけないと思って、まずいろんなイベントに、箱屋の存在を知ってもらうために参加するようにしました。そうするとそういうイベントに出店している方って、自分の好きなことを表現しているからすごく輝いているんです。初めは営業で行ったんですけど、だんだんその人たちに会いたくてイベントに顔を出すようになりました。自分の好きなことを表現している人たちの話や思いを聞いて、私もこういう風になりたいなと思って、いる内に自分が変わってきた感じがしたんです。その時に友達にチャレンジしてみない？と言われて今の私ならできるかもしれないと思って大会にチャレンジしました。やっぱり皆さん同じ高みを目指している、ライバルというよりは仲間なのでお互い切磋琢磨して、お互いにそれぞれのいいところを見つけて、自分が知らない自分を教えてもらったりとか、そういう経験をしてどんどん自分が変わりました。仕事以外でこんな集中することもなかったし、チャレンジすることでいろんな道が開けていって現状維持ではなく人間成長することで輝いていける事をこの大会で実感しました。

市長

自分がなりたい職業を辞めて、こちらの世界に入ったということで、それが決して挫折とかではなく、外的な要因があって、別の道に行かなければならない、恐らく家業であっても一からのスタートでしょうからそういう意味ではすごくご苦労もあったと思います。そのような経験も経て様々努力されているなと感じました。

また、いろんなことをやるにしても、私たちもそうですが今は様々なメディアがありますので、そういう物を活用していく、先ほどアニメの話もありましたが、前からありますが、全国的に聖地巡礼などアニメで地域おこしをする形があります。その時に北秋田市ってどこにあるのかということを是非知らせてほしいです。いろいろな会議になどで北秋田市の市長ですと言っても、北秋田市ってどこにあるんですかとよく聞かれます。阿仁マタギは知っていますという人もいるし、山が好きな人であれば、森吉山は知ってますという人もいます。だけれども、北秋田市の認知度、知名度は我々の努力不足でもあるんだけれども、不足しています。交通体系もどんどん整っているし、いろんな人も来てるし、だけれども、もっともっと北秋田市をPRしていかなければいけない、こんなに北秋田市で頑張っている方がたくさんいるのに、その北秋田市はどこにあってどうやって行ったらどこに行けるのかということをどんどんPRすることによって皆さん方にも頑張っていただきたいし、やはり人がたくさん来てくれることによって地域の物が売れたり、観光地が賑わったり、そういうことがあれば、北秋田市で仕事できる方もいるだろうし、地域づくりができるのではないかと感じました。

ファシリテーター（三浦さん）

市長からも「地域づくり」という言葉がありましたけれども、

二つ目は「北秋田市で働く人や更にはまち全体が活気であふれるためには北秋田市はどんなことをしたらよいのか、どんなものがあったらよいのか」ということを発表してもらいます。

阿仁学園（田中来羽さん）

私は有名企業や大規模の会社と北秋田市の企業がコラボしたり、大人数で働くことができる場所をつくればいいと思います。

また、マタギやスキー場などの観光資源をもっと積極的にPRする機会を作ること、大阿仁小学校など使っていない大きなところを学校カフェなどにしたり、観光をPRする場として利用すればいいと思います。例えば宿泊施設にしたりレストランにしたり資料館などにして、使っていないところを有効に活用したらいいと思います。

もう一つは地域活性化の発表内容を実現すると、もっと楽しいことができる場所が増えるのではないかなと思いました。

後はクマ肉や山菜などをPRする場所を機会と機会をつくればいいと思います。市外や県外のイベントやアンテナショップなど、食をPRしていけば、食べるのが好きな人とかにも来てもらいやすくなるんじゃないかなと思いました。

ファシリテーター（三浦さん）

地域活性化選手権の中で特に何を訴えたかったですか。

阿仁学園（田中来羽さん）

私は今年初めて活性化選手権に参加させていただいたんですが、阿仁スキー場の3D 迷宮っていうのを特に実現したいと思っていて、スキー場に迷路をつくって、その迷路を抜けたところに、何か巨大なプロジェクションマッピングを樹氷に映したものがあろうというものを実現したいなと思いました。

ファシリテーター（三浦さん）

すごい発想ですね。我々って一つの物を見ると、例えば樹氷なら樹氷のことしか思わないけど、そこにたどり着くまでとか、導線を考えたりとかいろいろな見方をすることで、その魅力がもっともっと広がったりする可能性があるっていうのを考えてらっしゃるのかなというふうに聞いていました。

森吉中学校（柏木晴花さん）

移住者に空き家をプレゼントしたり、税金は数年後から徴収したらよいと思います。あとは移住者にお得なクーポンなどをやればよいと思います。

空港が近い便利性から、IT関係の仕事をして、仕事は北秋田市で、出張は空港からということをして、休みの日は、北欧の杜でキャンプや森吉山で登山やスキー、四季美湖でカヌーなど移住者に北秋田市のいいところを伝えられたら良いと思います。

他には駅前の空き店舗をお試し貸出や起業の手伝いなどをすれば良いと思います。駅前の再開発をして商店の再建築などもできれば良いと思います。

あと、外人を受け入れる体制から、スキー場周辺ホテルなどを建てたり北欧の杜キャンプ場整備を進めればよいと思います。以上です。

合川中学校（成田虎六久さん）

市内での地区対抗戦や祭りイベントの開催で地域ごとの交流を増やしたり、クリーンアップの回数を増やし、住民ごとの交流も増えたらいいなと思います。

そして、電車回数券の無料配布や、教育費の支援などをして、もっとまち全体で盛り上がっていきえるようにしたら良いと思います。

他には不要な物を市民間で無償提供できるシステムや北秋田市あいさつWEEKなどで、交流を深めていけたらいいと思います。

北秋田市のシンボルとなるところで、北秋田市にはいろいろなキャラクターがありますが、北秋田市のシンボルとなるようなキャラクターがいればもっと盛り上がっていきえると思います。

鷹巣中学校（出川遙乃さん）

私も成田さんがさっき言ったように、地域の食べ物とか伝統を生かしたイベントを増やせばいいと思います。そうすればその地域の魅力を再発見することができると思うからです。

地域の食べ物じゃなくても、最近老若男女に流行っている、ラーメンフェスとか肉フェストか、今まで北秋田市で行ってこなかったようなイベントをやってみたら良いと思います。

ほかに、現在北秋田市の総人口は2万7834人ほどで、それに対して、北秋田市の公式LINEの友達の数はいくつで、インスタグラムのフォロワー数は3036人と若干少ない気がします。公式のインスタグラムは、地域の自然の写真とか、ハイライトでイベントのお知らせをしたりと北秋田市の気になる情報がたくさん載っていて、楽しい、公式LINEにはその日のごみ出しの種類、月曜日なので燃えるゴミですよみたいな、事例を教えてくれたり、防災マップが見えたり、便利な機能がたくさんあるからもっとフォロワーが増えれば若い人にも県外の人にも北秋田市を知ってもらえるのではないかと思います。以上です。

市長

よく調べ上げて、また、普段から感じていることをこうやって皆さんが発表してくれました。中にはやっぱりどうしても民間でやってもらいたいということもあるし、市としてももう少し力を入れなければいけないようなご指摘があります。

地域のお祭りなどのことで言えば、例えばマトビであれば、ストーリー性があって先祖供養ということで合川地区のお寺さんが集まって、先祖供養のお経を読んで、それからその後にマトビに火をつけるという、そしてその前には明るい時に踊りなどを踊ったりして地域の方々がまとまって頑張っているようなお祭りです。

あとそれぞれの地域にも沢山そういう祭りやイベントがありますが、花火大会もそうですし、どうしてもこれまでに旧4町が合併したきっかけがありますので、それぞれの地域にそれぞれのお祭りがありますので、なかなかその地域の人方でやっていくのは難しくなっているという部分もあるかと思います。北秋田市の観光物産協会というものがあり、その中で、事務局も人を雇っていますし、市としてもお金をしながらやっています。実際その地域にあるそれぞれの伝統のあるお祭りを残していくために、民間と我々行政でやれることとして、今度法人化で会社みたいな形にして、市もお金も出して行くけれども、その中で、そういう観光や物産を扱うまた、また、情報を流していく、それぞれの地域の情報もインスタでもいいし、様々SNS使って流していく、そのためには人を雇っていかねばならない。それを新しい形の観光物産協会的な形の経営目的の地域の振興を行う会社みたいにしていて、これまでは行政がやるとなかなか利益を上げるということは難しかった訳ですけども、法人化しますので、例えばお祭りに来た方がそこでいろんなものを買ってくれて、その売り上げは法人に入っていくのでそこで法人の売り上げができます。それから、食べるものでも工夫次第では祭りやイベントで地元の物を売ったりすることができると思います。そういうものでしっかり地域のイベントや伝統を待ってる方々、これを地域の人方が疲れた、来年はあとやらないという風になることではなくて、これをやって地域にお客さんが来てくれて自分が参加することによって、地域にもお金が入ってくる、そしたら次も頑張ろうとなるだろうし、その地域で行ってただ楽しただけじゃなくて、そういうものを守ってくださる方に協力していけるような、組織を新年度から立ち上げていきたいと思っています。

さっきも言ったように、それぞれの旧4町の良さがあるので、それを残すべきものは残していくし、地域づくりのために皆が頑張れる仕組みを、今日皆さん方からいろんなアイデアを出していただきました。なかんか皆さん方からいろんなアイデアをいただける機会がないもので、一応市としては、ワークショップなどで市民の皆さんといろいろお話するのですが、観光だけでなく、地域振興のことも伺いますけども、皆さんの生の声を聞けることが大変うれしいです。また、気づいたことがありましたら、言っていただければと思います。

ファシリテーター（三浦さん）

今出た活性化のアイデアとしては大きく3つに分けられると思います。一つ目がイベントを含めた自然観光資源や食文化を活かしたもの、二つ目が、生活の安全安心、快適さをもう少し出せるもの、そして、三つめが次のそれを

どのような形で発信するかということだと思うんですが、武石さん中学生のアイデアは聞いてどう思いましたか。

武石紙器(株)(武石美久さん)

イベントは私も思っていて、人を呼ぶためにはイベントを行ったほうがよいと思います。

あと空き家プレゼント、これ移住者の方はすごいありがたいと思います。他地区ではすごく安い値段で提供しているということも聞いたので。

あと、空港に近い利便性ということで、やっぱり空港が地元にあることが大きいので、この活用を視野に入れ、先ほどの市長もおっしゃってましたが、日本3大樹氷の中で、1時間で行けるのは北秋田市だけなんです。山形や北海道は3時間で、1番近いのが北秋田市なんです。こういう空港があるということをもっとアピールしたほうが良いなと思いました。

駅前の空き店舗貸出しもやっぱり魅力的で、毎日は無理だけど、土日祝日とかだったらちょっとやりたいなという人も多分いると思うんです。そういう人たちをアプローチするのもすごくいいのかなって思いました。

大阿仁小学校の宿泊施設も別の市町村で学校を宿泊施設にという前例もあるので、北秋田市も使えるものは使ったらどうでしょうか。学校でのお泊りとかって宿泊体験のような感じで結構楽しいのではないかと思います。

あとはクマ肉や山菜も、北秋田市では結構クマの印象ついたと思うので、それを使うというアイデアも素晴らしいなと思いました。

ファシリテーター(三浦さん)

今度は中学生同士であの人のアイデア良かったなというものや、先ほど話せなかったものがあればもっと自分の考えを発表していただければと思います。

阿仁学園(田中来羽さん)

成田さんの北秋田市あいさつWEEKっていうのがすごくいいなと思って、阿仁学園ではいつも挨拶を頑張っているんですけど、やっぱり挨拶はコミュニケーションの第一歩とかにもなるし、すごく挨拶が大事ななと実感した1年だったので、あいさつWEEKはやったらいいのではないかなと感じました。地域の方々とも挨拶をするんですが、阿仁の方はフレンドリーで、帰ってきたとき、おかえりとか声をかけてくれるので、やはり挨拶は大事だと思うので老若男女全員であいさつを頑張っていければいいのかなと思いました。

合川中学校(成田虎六久さん)

地域の人とのコミュニケーションの一環として、そして、これからのやっぱり上の世代と、下の世代の子どもたちとのかけ橋になるような挨拶、そこから生まれるコミュニケーションも大事にしていくようなあいさつWEEKになればいいなと思いました。

鷹巣中学校(出川遙乃さん)

田中さんの北欧の杜とかへの無料シャトルバスを運行するっていうのが良いと思いました。ここからだと北欧の杜っていうのは車とかじゃないと行けない距離ですが、無料のシャトルバスがあれば例えば親が仕事で遊びに行けないという時でも、小学生くらいなら気軽に行けるのでいいと思いました。

森吉中学校(柏木晴花さん)

私も田中さんの学校をカフェにするのがいいと思いました。使っていない学校をカフェにしたりして、観光もアピールできるので、一石二鳥でとてもいいと思いました。

合川中学校(成田虎六久さん)

柏木さんの外国人の受入れ体制づくりというところで、最近は日本にも外国人の人たちがたくさん来ていて、その中でもスキー場周辺のホテルなど宿泊施設などをつくって、外国人にもなじみのある北秋田市つくっていける柏木さんの意見はいいと思いました。

森吉中学校(柏木晴花さん)

私の姉がクウインス森吉働いていて、外国人の方がよく来ると言っていたのでこのアイデアが浮かびました。

鷹巣中学校(出川遙乃さん)

私も柏木さんの外人を受け入れる体制づくりはすごくいいと思っていて、この前阿仁スキー場に行ったのですが、タイミングよく外人の方とリフトを相乗りするタイミングがあって、樹氷がきれいだと言っていたので、そういう体制が作ればまちも活性化するし、知名度も上がるしいいかなと思いました。

市長

今はインバウンドの方々がたくさん来ています、さっき北秋田市の知名度が低いと話をしましたが、これは日本人の方々に対するPRが不足している部分であります。ここには大館能代空港があって、三便化がまだ4年ほど続きます。羽田で乗り継ぎをしてきてくれる方もいるだろうし、それから、高速道路が繋がってきていますので、八甲田の樹氷や山形の樹氷を見に来た人も、青森からであれば高速道路で2時間で来ることができるので、1つのプランとして考えられます。それから、盛岡方面にも高速道路が繋がっていますし、内陸線もあります。空港も高速道路も北秋田市にはありますので、これを活用していったインバウンドの方々にも来てもらって、樹氷などをSNSで全国、全世界に発信してくれるので、日本人観光客よりもはるかに外国人の方が森吉山を通じて北秋田市を知っています。しかし、残念ながら観光PRに対する力の入れ方が我々力不足な所があって、今みなさんがおっしゃっていたように地域にあるものを上手く活用しながらもっともっと増やしていきたいところであります。

それから阿仁の方は移住定住で来られている方がたくさんいて、学校の建物の使い方も今一度考えていかなければならないし、空き店舗の話もありました、実は鷹巣駅前の所にもスペースはたくさんあります。前あった「Day愛のひろば」というものが内陸線の駅の所にあって、バスケットのゴールなどもあったんだけど、今は、冬は雪捨て場になっているし、あそこうまく活用していった、あの場所でイベントなどをやってもらったり、普段駐車スペースがないとすれば、あの場所を使ってもらったりして活用していければと思っています。そして空き店舗のお話もありました。実際市でも補助金を出しながら空き店舗を活用していただく、また、商工会でも空き店舗を使ってもらいたい、使いたいという方をピックアップしてそしてそれで店を開けてくれているところも何店舗もあります。だからもっともっと活用していったこの周辺、中心市街地の賑わいを出して行かなければと思っています。

まだまだ、力の入れ方が不足している部分がありますので皆さんからいただいた、ご意見や提案などを真剣に考えたいと思いました。本当にお礼の言いようがないくらいたくさんアイデアいただきまして本当にありがとうございます。

阿仁学園(田中来羽さん)

さっき三浦さんが自然食、生活、発信というのがあったんですけど、やっぱり発信しないと、食も自然も生活も発信できない、つながっていかない、みんな分からないと思うので、発信することが大事だと思いました。なので出川さんのSNSでの情報発信というのがすごく大事だと思っていて、結構いろんなところで発信はしているんですけど、もっとたくさんの人に知ってもらえるような工夫をたくさんしていけたらなと思いました。

鷹巣中学校(出川遙乃さん)

私も発信するのが大事だと思っていて、おっしゃっていたとおり発信しないと伝わらないものがあると思うし、発信したおかげで、例えば画像だけ見ても分からないことが、来てみたら分かったこととか、そういう発見があるので、私も発信することはかなり重要だと思います。

ファシリテーター(三浦さん)

これから進路を決定に関する中学生のみなさんにアドバイスをお願いします。

武石紙器(株)(武石美久さん)

たくさん行動して、いろんなところ見てたくさんの方と接してください。いろんな体験や経験してください。失敗は

失敗ではありません。失敗はレベルアップなので失敗したから辞めようではなくて失敗したからこそ、次の段階に進むことができます。そして過去の自分が今の自分を作っています。ありきたりな言葉を並べましたが、私自身が一歩踏み出したことで世界が変わりました。現状維持ではなく、新しいことにチャレンジすることで自分自身も周りも変わります。そしてたくさんの方と出会いご縁を結ぶことができました。今日このような場でみなさんとお会いできたこともご縁になります。無理、できないは本当にもったいないです。まずやってみるかっていう簡単な気持ちでいろんなことにチャレンジしてください。必ずチャレンジしたことが、未来の自分の糧になりますので、やってみてやらなきゃよかったとなることはありませんのでこの先いろんなことにチャレンジしてほしいと思います。

合川中学校（成田虎六久さん）

まず行動してみないと、自分には何があるか分からないし、経験していくことで、自分の持ち味だったり、自分の弱点が分かると思うので、自分の経験をもっと増やして、自分はどうかやったらいいのかということもこれから考えていきたいと思います。

森吉中学校（柏木晴花さん）

私も英検に取り組むときにできないって思って諦めかけてしまったこともあるので、自分の未来を考えて取り組むことで、今の自分が未来を創るので頑張っていきたいと思いました。

阿仁学園（田中来羽さん）

今年の阿仁学園の目標が「動く（Do）」で動くと書いてDoでたくさんチャレンジして行動していこうという目標だったんですけど、今年はたくさんのDoをして、失敗したり、成功したりしてきたんですけど、全てが自分の経験値になって、いろんなことを吸収して学んで、次の行動に生かすことができたので、やっぱり行動することということが大事だという武石さんの言葉にすごく共感しました。

これからもどんどん行動して失敗しながら、たくさんのことを学んでチャレンジしていきたいと思います。

鷹巣中学校（出川遙乃さん）

私は失敗するのがすごく怖くて、なんでも聞いてしまう癖があるんですけど、さっきおっしゃったように失敗を恐れないことは本当に大事だと思うので、取りあえず他人に最初から聞かないで、何でも失敗してもいいから何でもやってみようって思いました。

武石紙器（株）（武石美久さん）

私ももともとは石橋を叩きすぎて割ってしまうタイプでした。もともと、どうしようとかネガティブで、インドア派で家の中にこもるのが好きだったんですけど、自分の考え方でこれじゃダメだと思って、営業もあったので人見知りも克服しなきゃと思って、自分は失敗も嫌だったし、絶対失敗しないように作ろうって思ってたんですけど、ちょっと考え方が変わって、まずやってみようっていう考えに切り替わってから、失敗しても、次にそれをやらなければいいだけですし、こうして失敗したから次は別の手を考えようと、考え方を切り替えていったことでポジティブに考えられるようになりました。

いきなり変わらなくても、自分のペースでいろんな経験をして徐々に自分をポジティブに変えていくのもいいと思うので自分のペースで自分のモチベでやってみてください。

聴衆

お話を聞いて、私はこの箱や紙の未来というのをすごく実感しました。

以前、阿仁中で阿仁ガチャというものを新聞で見たのですが、例えば、ガチャで開けるときにワクワクするっていうことにもつながると思うし、中学生や武石さんのお話を聞いて広がってとてもドキドキワクワクしながら今日この場に参加させていただきました。ありがとうございました。そ

聴衆

武石さんからチャレンジしてほしいというお話がありましたけれども、子どもたちが日々、いろんなチャレンジをす

るところ、大きなものから小さなものまで、それを後押ししたり、励ましたり、そういったことができる大人でありたいなと思いました。

そして、今日すばらしいこの中学生、この中学生たちが、自分の夢をかなえながら、ここで住み続けられるそんな街でありたいものだなと、そのようなためにも私たちは何ができるかっていうことを考えていきたいなというふうに思いました。今日はありがとうございます。

阿仁学園小林校長

阿仁学園で校長しております小林と申します。感動しました。素晴らしかったです。

後半、発信ということがあったんですけど、阿仁学園も毎年ブログを発信しているんですけど、大体1週間に1000件ぐらいアクセスがあって、いろんな方が見てくださっています。

実はちょっと先週と先々週1週間、イギリスから2人体験入学ということで、1年生と4年生に来ていました。今日帰ったんですけども、お母さんにどうでしたかって聞いたら「息子がこのまま居たいって言うてる。でも帰んなきゃいけないんだよ」という話をしたと言っていました。お母さんが、また次来ようねって言ったら、「次はいつ!!」って催促していたということで、全然文化も違うし、言葉も違ってもこの地区の良さを分かってくれていることがすごく嬉しくて今は多分飛行機に乗ってるんですけど、イギリスに帰って、その子はきっと言うんですね、僕は北秋田市の阿仁学園というところに行って来てってきっと発信してくれるんじゃないかなと思っています。お母さんもそうすれば、日本って、秋田にはこんないいところがあるんだって発信してくれているのではないかなと思っています。

ICTを使って発信するのも発信、目の前の人に誠意をもって関わって人から人に伝わっていくことも発信、いろんな形で、このまちのよさが広がってくれるといいなって話を聞きながら思いました。ありがとうございました。

聴衆

今日は興味深い討論がなされまして私も楽しく参加させていただきました。北秋田市をこうしていきたいという、直接的な話だけではなく、働くことや、人のためにどういうことが自分にできるのか、そういった一つまた次元が超えたようなことにも大きく発展し、先ほど感想の中にあっただけですけども、そういった思いを持ったどんどん若い世代、そしてもちろん我々の世代も同じですが、そんな思いがどんどん北秋田市から増えていき、そしてそういう思いが北秋田市を変えていく原動力になるのではないかなと、非常に感心いたしました。今日はそのようなたくさんの考えや意見が聞けて大変参考になりました。どうもありがとうございました。

教育長

北秋田市の明るい未来を感じた1時間半でした。期待しています。先週は第三次北秋田市基本計画の各校の中学生が参加したんですよ。ぜひ今日話したことで先週話したことを学校で広げてください。みんなのこの場だけで終わっちゃだめですよ。各学校の全部の生徒にこんなことしてこうということを広めてほしいなと、そうするとますます明るい未来が開けてくるんじゃないかなと感じています。期待しています。

6. 市長感想発表

市長

感謝を込めてお話させていただきます。4人の中学生のみなさん、そして武石さんありがとうございました。

今いろんな方々からお話ありましたように今日のディスカッションを聞きながら、私はマンモス校時代に育った人間ですけど、その時はその時でいろいろあったけれども、それぞれすごく楽しい中学校生活でした。どんどん子どもさんの数が少なくなっている、都会の方々から見るとこういう地方だと勉強ができないんじゃないのとか大変だろうなとかそういう後ろ向きな話が聞こえて参りますけれども、皆さんの話を聞きながら、本当に素晴らしい中学生の皆さんだなと思いました。これを誇りに思ってください。大きいことだけがいいことじゃない。そしてさっき話したように、外国からも来て、君たちと一緒に勉強したいという子どもさん方もいます。保育園から北秋田市にきて学びたいとい

う方もいらっしゃる。そういう人たちがいるということをいつも覚えていただいて、そして、そういう人方のために、それぞれの学校で、いろんな活動していただいて、前向きに取り組んでいただいて、さっき武石さんから話がありましたけれども、失敗を恐れず挑戦していただければありがたいと思います。

本当に市長も勉強になりました。ありがとうございました。

7. ファシリテーターまとめ

ファシリテーター（三浦さん）

果てしない広い大地の北秋田市ですごい熱量を持った、中学生の皆さん、武石さん。皆さんのお話を聞いてとてもワクワクドキドキした時間でした。まとめの時間ということで三つのことをお話しさせていただきたいと思います。

一つ目は、やっぱりつながりをつくるのが大事かなあと思いました。つながりは人との繋がりもそうですし、情報をつなげるつながりってということもあるかもしれません。それが仕事でも、地域の活性化でもきっとつながっていくのではないかなというふうに思いました。

二つ目は、ことわざに「百聞は一見にしかず」というのがありますが、これは100回聞くより1回見るのが大事ですということです。ですが、次は「百見は一考にしかず」というものがあります。さらには「百考は一行にしかず」という100回考えるよりも1回行動した方がよいと、そうするとどんどん開けていきます。まさに今日はそのようなお話でしたね。そして、実はまたその後もあるんですね。「百行は一果一効にしかず」どのような結果になるか求めて、突き詰めていくことで大事で結果とか効果を出していくことでまたそれが開けてくる。そしてまたその後もあるんです。「百効は一幸にしかず」そういういっぱいの効果は何のためかという、一つの幸せのためですよというものです。まさに皆さんの仕事の先に求めるもの、幸せだという風にお話してくれました。そういうふうにながら、これから進路選択も含めて取り組んでもらえなと思います。

そして三つ目は幸せということです。先ほど教育長さんから新しい総合計画の話が出されました。令和8年から10年間の計画です。ということは皆さんもその時は24歳とか、いよいよ社会に出て活躍している時代ですね。僕はその審議会というその計画が良いものになるように具体的に検討する会に出させて頂いてるんですが、諮問の内容の中に「ウェルビーイング」という言葉で市長さんからお話頂きました。ウェルビーイングというのは、心身ともに健康で幸せなんですけども、その先、さらには、多様な人々のそれぞれに応じた幸せ、そして持続可能な幸せっていう理由を含んていまして、そういうふうな幸せを求めて、ぜひ、自分そして周り、そして北秋田市の事を考えながらこれから進めていただきたいなというふうに思いました。本当にたくさんのお考え感想頂いて貴重な時間になりました。ありがとうございました。

8. 閉会

司会

「令和6年度 市長と語ろう!タウンミーティング」を終了いたします。

市長と語ろう！タウンミーティング（写真集）



